

# 「生命のがん教育」を実施しました

(令和5年1学期分)

令和5年1学期は33校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

## ◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

## ◆授業風景



(北桑田高校)



(城陽高校)

## ◎小学校 (8校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
6/2 (金)	長岡京市立長法寺小学校	6	京都済生会病院 がん看護専門看護師 山本 正彦
6/5 (月)	京都市立養正小学校	6	京都府立医科大学教育センター 特任教授 曾和 義広
6/12 (月)	京都市立川岡小学校	6	三菱京都病院 副院長 吉岡 亮
6/22 (木)	相楽東部広域連合立和東小学校	6	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
7/4 (火)	京都市立西大路小学校	6	京都市立病院 産婦人科部長 小芝 明美
7/5 (水)	京都市立大塚小学校	6	洛和会音羽病院 京都医学教育センター長 酒見 英太
7/13 (木)	綾部市立上林小学校	5・6	綾部市立病院 小児科 北村 一将
7/14 (金)	一燈園小学校	6	京都府立医科大学大学院 医学研究科教授 武藤 倫弘

## <児童の感想>

- ◇ 日本人の2人に1人ががんになることが印象に残りました。
- ◇ がんになったらどうするかや、どんな症状がでるかをよく学べた。たばこなどをあまり吸わないほうがいいということを知りたい。(がんになりやすくなるから)
- ◇ 困っている人がいたら、自分ができるとすれば助けることを心がけて、これから過ごしていきたいと思いました。また、がんになって辛い思いは誰でもすると思うので、少しでも自分が相手の支えになれるよう頑張りたいと思いました。検診に行ってもらえるように言いたいと思います。
- ◇ がんにはたくさん種類がある。がんの検査は、大人になったら絶対に行った方がいいことだと思う。家族と共に、今日教えてくれたがんのことを言いたい。家族の方にも教える。
- ◇ がんになっても優しく支えてくれたり、応援してくれる人がいるんだなって温かい気持ちになりました。自分や家族とがんのことについて話し合おうと思いました。規則正しい生活をして、好き嫌いせずに生活して

いこうと思いました。

- ◇ がんの種類やどのようになるのかどのように治すのかを知れました。学んだことなどを周りの人と一緒に気を付けていきたいです。
- ◇ 僕も好き嫌いせずに健康にしていきたいし、最近睡眠も6、7時間しかとれてないから、9時間は寝れるようにしたいです。家族にちゃんと検診行ってと言ってあげたいと思いました。
- ◇ 悪い細胞が、がんのもとになることを知りました。生活習慣を直そうと思いました。

#### ◎中学校（7校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
5/31（水）	同志社中学校	2	京都大学医学部附属病院 産科婦人科 准教授 濱西 潤三
6/1（木）	京都光華中学校	1・3	三菱京都病院 副院長 吉岡 亮
7/6（木）	舞鶴市立城北中学校	3	舞鶴医療センター 緩和ケア認定看護師 森 景子
7/7（金）	八幡市立男山第二中学校	1	京都岡本記念病院 がん看護科師長 田村 美子
7/10（月）	舞鶴市立若浦中学校	3	舞鶴医療センター 乳がん認定看護師 四方 文子
7/13（木）	綾部市立上林中学校	1・2・3	綾部市立病院 小児科 北村 一将
7/18（火）	一燈園中学校	2	京都府立医科大学大学院 医学研究科教授 武藤 倫弘

#### <生徒の感想>

- ◇ がんってほんとに誰でもなる可能性があるってことを感じた。
- ◇ がんの細胞は毎日約5000個できているということに驚きました。がんを予防するために、規則正しい生活習慣を心がけ、大人になったらがん検診に行こうと思いました。
- ◇ 2人に1人という確率でがんになるのは、本当に身近なことなのだと感じた。家族や仲間の支えなしでは何も立ち向かえないと思った。家族や友達、誰がなってもおかしくないことを知ったので、日頃から感謝を伝え、がんになる前に予防できることはしておきたいです。明日が来ることは幸せなことなのだと感じた。
- ◇ がんにはいろいろな種類があって、人それぞれ違う症状があることが分かった。家族を気遣い大切にしようと思った。
- ◇ がんが2人に1人なることが分かって、すごく身近なものだと思ったし、がんを予防するために、規則正しい生活習慣を心がけようと思った。大切な人に今日聞いたことを話して、予防してほしいし、検診に行ってもらいたいと思った。
- ◇ がんについての考えが変わりました。がん検査も早めに行って早く見つけたいです。少しでもいつもと違うこととかがあれば、声をかけたいです。
- ◇ がんが、日本人にとって一番かかっている病気だと知って、驚きました。たばこは吸わないようにしようと思います。

#### ◎高等学校（18校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
5/10（水）	日星高等学校	1	【動画併用方式】
6/1（木）	京都光華高等学校	1	三菱京都病院 副院長 吉岡 亮
6/7（水）	京都府立南陽高等学校	1	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
6/7（水）	京都府立西乙訓高等学校	1	京都桂病院 副院長 岸 信之
6/9（金）	福知山成美高等学校	1	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
6/13（火）	京都市立白河総合支援学校	1	京都府立医科大学大学院 医学研究科教授 武藤 倫弘

6/21 (水)	京都廣学館高等学校	1	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
6/21 (水)	京都府立園部高等学校	1	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
6/23 (金)	同志社高等学校	1	京都大学医学部附属病院 腫瘍内科特定講師 森 由希子
6/23 (金)	華頂女子高等学校	1	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
6/30 (金)	京都府立大江高等学校	1	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
7/7 (金)	京都府立北桑田高等学校	2	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
7/7 (金)	京都府立宮津天橋高等学校 加悦谷学舎	1	京都府立医科大学附属北部医療センター 診療部長 堅田 和弘
7/10 (月)	京都市立美術工芸高等学校	1	京都第二赤十字病院 腫瘍内科副部長 白川 敦史
7/11 (火)	京都府立城陽高等学校	1	京都府山城北保健所 所長 重見 博子
7/14 (金)	京都府立中丹支援学校	1・2・3	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
7/18 (火)	一燈園高等学校	1	京都府立医科大学大学院 医学研究科教授 武藤 倫弘
7/18 (火)	京都府立峰山高等学校	1	京都府立医科大学附属北部医療センター 外科医長 内藤 慶

<生徒の感想>

- ◇ もし自分ががんになったら毎日不安で仕方ないと思うけれど、周りの人のことを大切にして自分一人だけではなく、周りの人の手を借りて治療に励むことが大切だと思いました。
- ◇ がんが大きくなるのに 1~2 年しかかからないことを知って、より早期発見、早期治療が重要だということが分かった。また、周りで支えてあげたりすることで、気持ちをやわらげることができると思った。
- ◇ 健康診断で問題がなかったとしても、がんの有無はがん検診を受けなければわからないことに驚きました。大人になったらきちんと受けようと思いました。
- ◇ 自分ががんになったときや、周りの知人や友人ががんになったときの向き合い方や、寄り添い方を学べた。偏見や自分の思い込みだけで行動せず、正しい情報などを SNS やパンフレット等から調べ、自分にできることをしたい。思っていたより、自分の思い込みが多くあったことを知った。
- ◇ たばこやお酒を飲むと癌になりやすい。だから、20 歳になったらたばこを吸わず、お酒を控えたいと思いました。
- ◇ 食生活でもっとバランスをとっていきたいと思いました。
- ◇ がんという病気の存在が大きすぎて、がんになるとほとんどが気付いたときには進行してしまっているという認識が強かったけれど、定期検診などで早期発見がしっかりとできることを改めて知り、検診がとても大切だと思った。
- ◇ 帰ってすぐ親にがん検診について話をしたぐらい印象に残る話でした。これからはもっと生活習慣を意識していきたいです。
- ◇ 日本における死因の一位であることは知っていましたが、まさか二人に一人もかかるものだとは知らなかったのもとても驚きました。
- ◇ 特に子宮頸がんについては、新たに知ることが多かったので印象に残っています。子宮頸がんのワクチンを打ちに行こうと思いました。
- ◇ がんにかかると必ず死ぬという考え方はもう古いということを知って、自分がもしがんになってもプラス思考でいれるようにしたいと思った。
- ◇ がんは 2 人に 1 人がなる身近な病気。がんのなり方が分かった (細胞から生まれる)。自分の身近な人になったときは、ちゃんと考えて行動しようと思った。そして、新しくちゃんとした知識が付けられた。
- ◇ 早期発見、早期治療が一番大切だと思いました。がんになってしまったら、患者さんは不安な気持ちが大きくなるから、しっかりサポートしたいし、してもらいたいとも思いました。
- ◇ 大人になったら目先だけを見ずに、人生を見渡して検診を受けることが大切だと思った。そしてバランスのとれた食事と十分な睡眠を心がけたいです。

- ◇ がんは健康診断ではわからない。大人になったら毎年受けるべき検査だと思った。親も大切なので絶対に検査してほしいと思ったし、こんな機会があってお話を聞いて良かったと思いましたし、いろんな人に教えるべきだと感じました。
- ◇ 食生活や体調管理をしっかりする。
- ◇ 今日の授業で、喫煙・禁酒すればがんが減らせることが期待されていると思いました。これからは、友達などにたばこやお酒をすすめられたら、はっきり断ろうと思いました。今回新たに、がんの治療法を詳しく知りたいと思いました。
- ◇ がんを予防するには、規則正しい生活をするのが1番だと思いました。また、がん検査は「何も異常がない時にこそ行くもの」という言葉が、とても印象に残りました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4973 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp